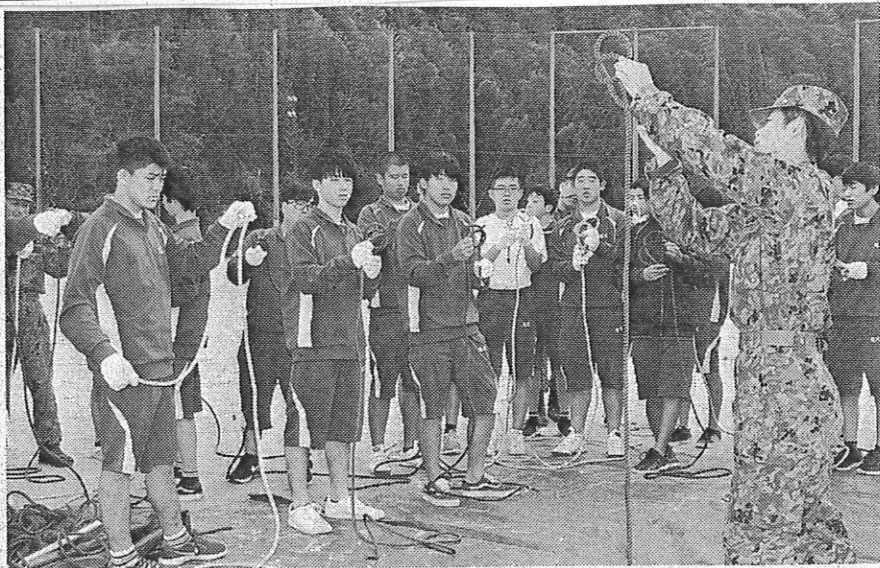


昭和21年7月10日第3種郵便物認可

(9)



自衛隊員にロープの結び方を学ぶ生徒たち（田辺市あけぼので）

田工高で防災スクール

自衛隊員から教わる

田辺市あけぼのの田辺工業高校はこのほど、同校で防災スクールを開いた。1年生147人が自衛隊員19人から、応急手当てや天幕の設置方法などを教わった。

毎年取り組んでおり、今年度は信太山駐屯地第37普通科連隊（大阪府和泉市）と自衛隊和歌山地方協力本部田辺地域事務所（田辺市下方呂）の協力で実施した。

自衛隊員から災害派遣の話聞いた後、生徒はグラウンドで4班に分かれて実習訓練をした。

一つの班は同校に備蓄していた非常食を使って炊き出しをした。他の三つの班は天幕の張り方、「もやい結び」

「巻き結び」など災害時に便利なロープの結び方、心肺蘇生法などの応急手当ての仕方を入れ替わりで教わった。

崎地泰心君（16）は「自衛隊員の話聞いて、自衛隊は災害の時にやらなければならぬ仕事がたくさんあって、すごいと思った。今回実習でやったことを災害の時も生かせたらと思う」と話した。

田辺地域事務所の川口輝樹

所長（50）は「ロープの結び方など今回だけでなくいろんな機会を使ってみて、災害などの時に思い出してほしい」と語った。

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎